



平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16 年 7 月 26 日

上場会社名 国産電機株式会社

（コード番号：6992 東証第 2 部）

代 表 者 役職名 代表取締役社長 藤森 好則

（ T E L : (055) - 921 - 5930 ）

問合せ責任者 役職名 取締役業務管理本部長 高野 正利

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
（内容）

- ・たな卸資産の計上基準...四半期におけるたな卸資産のたな卸高は、実地たな卸を行わず、前連結会計年度に係る実地たな卸高を基礎として、帳簿たな卸により算定しております。
 - ・法人税等の計上基準...法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (記載金額は百万円未満四捨五入表示)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	4,815	17.2	169	-	200	-	104	-
16 年 3 月期第 1 四半期	4,108	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	17,329		287		378		156	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17 年 3 月期第 1 四半期	3.44	-
16 年 3 月期第 1 四半期	-	-
(参考)16 年 3 月期	9.06	-

(注)1.売上高におけるパーセント表示は、対前年第 1 四半期増減率を示しております。

2.売上高以外の項目につきましては、当第 1 四半期より開示を行っているため、前年第 1 四半期実績及び対前年第 1 四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期におけるわが国経済は、輸出や設備投資が堅調に推移し着実な景気の回復が続いております。また世界経済も米国・中国・欧州において順調に推移しております。しかしながら、イラク情勢、米国の金利引上げや好況の中国における金融引締め等により今後世界経済に及ぼす影響は不透明であります。

このような状況の中、当社グループの業績は売上が米国向け小型発電機の増加などにより 48 億 15 百万円と前年同期(41 億 8 百万円)比 7 億 7 百万円(17.2%)の増収となりました。また利益面では、営業利益 1 億 69 百万円、経常利益は 2 億円、四半期純利益は 1 億 4 百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1 株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17 年 3 月期第 1 四半期	14,909	8,196	55.0	548.21
16 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	14,573	8,229	56.5	550.06

当第 1 四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は前期末に比べて 3 億 36 百万円増加し 149 億 9 百万円、株主資本は 33 百万円減少し 81 億 96 百万円、株主資本比率は 1.5 ポイント減少し 55.0%となりました。

資産は売上の増加に伴い売掛債権・たな卸資産等が増加し、3 億 36 百万円増加しております。

一方、負債は売上の増加に伴い買掛債務が 3 億 67 百万円増加しております。

3. 平成 17 年 3 月期の中間連結業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,730	180	80
今 回 修 正 予 想 (B)	9,830	330	140
増 減 額 (B - A)	1,100	150	60
増 減 率 (%)	12.6%	83.3%	75.0%
(参考) 前期実績(平成 16 年 3 月中間期)	8,318	137	51

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 17 年 3 月期の中間連結業績につきましては、雪上車用電装品の増加と米国向け小型発電機の大幅な売上増加、それに伴う操業黒字が見込まれ、売上高 11 億円(当初予想比 12.6%増)、経常利益 1 億 50 百万円(当初予想比 83.3%増)、中間純利益 60 百万円(当初予想比 75.0%増)それぞれ上方修正致しました。

なお、通期につきましては、原材料価格の動向や景気の先行き等現時点では不透明な要素が多いため通期業績予想は平成 17 年 3 月中間期決算発表時にあらためて発表させていただきます。

4. 平成 17 年 3 月期の中間個別業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,700	150	65
今 回 修 正 予 想 (B)	9,800	270	110
増 減 額 (B - A)	1,100	120	45
増 減 率 (%)	12.6%	80.0%	69.2%
(参考) 前期実績(平成 16 年 3 月中間期)	8,297	119	43

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 17 年 3 月期の個別中間業績につきましては売上高 11 億円(当初予想比 12.6%増)、経常利益 1 億 20 百万円(当初予想比 80.0%増)、中間純利益 45 百万円(当初予想比 69.2%増)それぞれ上方修正致しました。主な要因は、連結業績予想での要因と同様であります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

上記記載金額は百万円未満四捨五入表示してあります。

以 上